

新潟脳神経研究会特別例会の御案内

今回は、高橋 均教授と崎村建司教授の退官の記念講演会といたしますので、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

日時：平成30年3月27日（火）午後5時～7時

場所：脳研究所 1階 検討会室

（座長：那波宏之 所長）

1) 私と神経病理学

（60分）

高橋 均 教授

新潟大学 脳研究所 病理学分野

私は臨床医には向かないと決断し、神経病理学の道を選んだ。以後、これまで多くの剖検例、生検例を経験してきた。最初のころは電子顕微鏡による観察に没頭し、その後、免疫組織化学による分子の同定に驚いたり、免疫電顕に魅せられたり、さらに共同して原因遺伝子や病的蛋白の同定に喜んだり、一連の発展的時代を実感することができた。常に患者側に立つ神経病理学を実践できて本当によかった。

2) 脳機能を分子レベルで考える

（60分）

崎村 建司 教授

新潟大学 脳研究所 細胞神経生物学分野

脳特異タンパク質というキーワードから脳研究を始めた私は、脳機能を担う分子一つ一つの働きを理解して、脳の作動原理を知りたいと思ってきました。したがって、遺伝子改変動物を作製して解析するという方法こそが、脳機能を解く要の技術だと思いその開発と従事するスタッフの育成をおこなってきました。コンディショナルノックアウトを中心としたマウスの作製により、世界に認められるラボになりました。一方、相変わらず分子の数を数えることにこだわっています。それは分子の数が、機能を考える上での大きな要素になるからです。脳を分子で語るというこだわりは、次のステージにどのように繋がるのかを考えてみたいと思います。

どうぞ奮ってご参加ください。

（担当分野：病理学／細胞神経生物学分野）
新潟脳神経研究会幹事代表：那波宏之